

今年はウクライナ戦争の影響もあり、全世界規模でエネルギーの調達が難しくなっております。我国においても特に電力需給がひっ迫すると伝えられており、政府は省エネ・節電の呼びかけをしています。ここでは、この冬に向けての省エネ・節電につながる脱炭素のポイントをご紹介します。

## ▼電気の省エネ

資源エネルギー庁資料より

全家庭で消費電力の1%を節電すると  
毎日、コンビニ約1万5千店舗が消費する電力と同程度のエネルギーが削減できます。

## 冷蔵庫

- ✓ 冷蔵庫の冷やしすぎを避け（強→中）、扉を開ける時間を減らし、食品を詰め込みすぎないようにしましょう。



節電効果 約1%

※食品の傷みにはご注意ください。

## エアコン

- ✓ 重ね着をするなどして、無理のない範囲で室内温度を下げましょう。節電効果 約2%
- ✓ 窓には厚手のカーテンを掛けましょう。節電効果 0.7%
- ✓ 目詰まりしたフィルターを清掃しましょう。節電効果 0.7%



## 照明

- ✓ 不要な照明は消しましょう。節電効果 約4%
- ✓ リビングや寝室の照明の明るさを下げましょう。節電効果 約1%

温水  
洗浄便座

- ✓ タイマー節電機能を利用しましょう。機能が無い場合は便座保温・温水の設定温度を下げ、便座のふたを閉じましょう。

節電効果 0.1%

節約機能

## テレビ

- ✓ 省エネモードに設定し、画面の輝度を下げましょう。見ていないときは消しましょう。

節電効果 約1%



## ▼ガスの省エネ

## ガス 給湯器（風呂）

- ✓ お湯の出し過ぎに注意し、シャワー時間を短くしましょう。省エネ効果 1.9%
- ✓ 入浴は間隔を空けずに入りましょう。省エネ効果 5.6%

## 調理

- ✓ 炎は鍋底からはみ出さないように、火力を調整しましょう。省エネ効果 0.3%
- ✓ お皿を洗うときのお湯の温度を下げましょう。省エネ効果 0.6%



## ＜特集＞

## 冬期の省エネ・節電

※経済産業省HPから引用

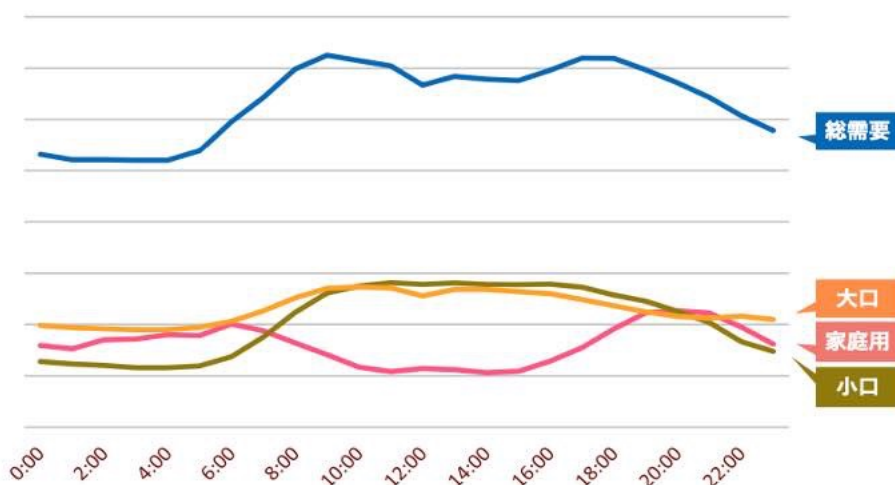
## ■ 今冬の節電呼びかけ期間

2022年12月1日～2023年3月31日

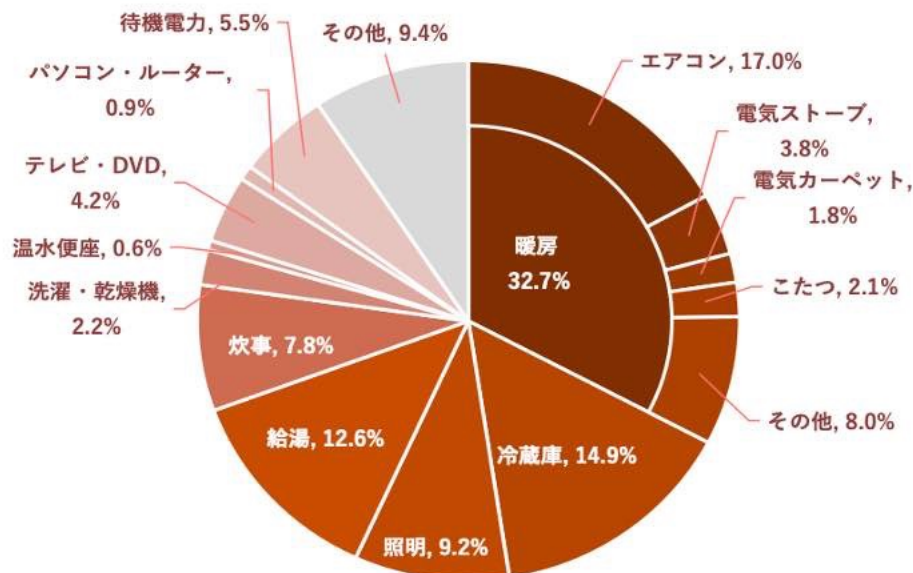
## 電力使用の特徴

電力需要は、暖房や照明の使用量が多くなる 日中に 高まる傾向にあります。

冬の電力需要（本州・四国・九州エリア）



## 家庭における電気の使用割合（冬季の1日間）





## ＜特集＞

## 冬期の省エネ・節電

※経済産業省HPから引用

省エネ・節電メニュー		節電効果 (削減率)
暖房	重ね着などをして、室温を下げましょう。（右記の節電効果はエアコンを使用時に室内温度を22℃から20℃に下げた場合の数値）	2.7%
	目詰まりしたフィルターを清掃しましょう。（右記の節電効果はエアコンの場合の数値）	0.8%
	窓には厚手のカーテンを掛けましょう。（右記の節電効果はエアコンの場合の数値）	0.8%
	扇風機やサーキュレータで部屋の上部の暖気を循環させましょう。	-
照明	リビングや寝室などの部屋の明るさを下げましょう。	1.5%
	不要な照明はすべて消しましょう。	4.5%
冷蔵庫	冷蔵庫の冷やしすぎを避け（「強」→「中」）、扉を開ける時間を減らし、食品を詰め込みすぎないようにしましょう。 ※食品の傷みにはご注意ください。	1.5%
	壁との間に適切な間隔を空けて設置しましょう。	-
テレビ	省エネモードに設定して、画面の輝度を下げましょう。見ていない時は消しましょう。	1.0%
温水洗浄便器	タイマー節電機能を利用しましょう。機能がない場合は便座保温・温水の設定温度を下げ、便座のふたを閉じましょう。	0.2%
洗濯機	洗濯は容量の8割以上を目安にまとめ洗いをしましょう。	0.3%
乾燥機	衣類乾燥機（洗濯機の乾燥機能含む）や浴室乾燥機は、部屋干しと併用して使用時間を短くしましょう。	0.5%
こたつ	使用時間を半分にしましょう。	1.0%
	上掛けなどを活用し、暖気を逃さないようにしましょう。	—
電気カーペット	暖房面積を半分にしましょう。	0.9%
	電気カーペットの下に断熱マットを敷きましょう。	—

※「節電効果」は1日間の家庭での電気使用量に対する節電効果の概算値です。地域・気候条件等によって節電効果は変動します。

## ＜特集＞

## 冬の省エネ・節電

※経済産業省HPから引用

ライフスタイル	家族そろってリビングで過ごし、人のいない部屋の照明・エアコンを消すなど、ライフスタイルの見直しをすると省エネになります。
床暖房	床暖房は就寝やお出かけ前の30分前に切るよう心がけましょう。
自動車	エコドライブを心がけましょう。 ふんわりアクセル（10％程度燃費改善） 減速時は早めにアクセルを離す（2％程度燃費改善） 等
公共交通機関	外出に際しては、公共交通機関や自転車をなるべく利用しましょう。
省エネ製品	蛍光灯や白熱電球をLEDに、古いエアコンを新しい省エネエアコンに、給湯器をより高効率なものに換えるなども、省エネに効果的です。
家屋の断熱	窓ガラスを複層ガラスにするなど、家屋の断熱性を高めることも、省エネに効果的です。
パソコン	省電力設定を活用しましょう。
掃除機	詰まった紙パックは交換しましょう。

家庭には、他にも以下のような消費電力が大きい家電製品があります。



アイロン	電気ポット	電子レンジ	ホットプレート	ドライヤー
トースター	IHクッキングヒーター	食器洗い機	洗濯乾燥機	掃除機

省エネ家電への買い換えも節電・省エネに有効です。省エネ家電への買い換えに際しては、(左図)の「統一省エネラベル」を参考にしてください。

## ガスの省エネメニュー

省エネ効果※  
(削減率)

給湯・お風呂	お湯の出し過ぎに注意しましょう。シャワーの時間を短くすることも省エネに効果的です。 (右記の省エネ効果は、45℃の湯を流す時間を1分間短縮した場合の数値)	1.9%
	追い焚きが必要ないように、入浴は間隔を空けずに入りましょう。 (右記の数値は、2時間の放置により4.5℃低下した湯(200ℓ)を毎日追い焚きする場合の数値)	5.6%
調理	炎は鍋底からはみ出さないように、火力を調整しましょう。 (右記の数値は、1日3回、水1ℓ(20℃程度)を沸騰させる時、強火から中火にした場合の数値)	0.3%
	お皿を洗うときの温度を下げましょう。 (右記の数値は、洗う時の水の温度を2℃下げた場合の数値)	0.6%
	鍋に火をかけるときにはふたをしましょう。	-





## SCN、10月の活動

2022年4月に発足した島原カーボンニュートラル推進協議会ですが、ここ半年は情報収集のみを進めてまいりましたが、10月1日から本格的に活動をスタートしました。

カーボンニュートラルを推進する者として、中古ですがEV(電気自動車:三菱 i-MiEV)を購入し、広告塔として島原を走り回り、カーボンニュートラルを推進したいという願いで導入しました。(写真のように、かなり派手です。皆様、見かけられたら、ぜひお声掛けください)



島原市役所の関係部署様へは挨拶と情報交換で数度訪問し、市長にもご挨拶と活動内容の説明が出来ました。現在は当協議会のNPO法人申請で、「けんみん長崎ボランティアセンター」を訪問し、現在もやりとりをしながら、申請準備に奔走しています。



## <最近のトピックス>

- ・宮崎大学に、環境に配慮したエネチェンジEV充電を導入



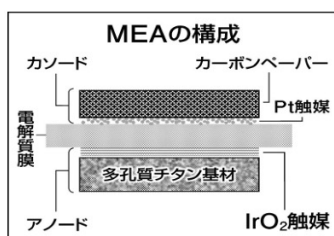
株式会社樹昇(本社:宮崎市)は、ENECHANGE株式会社(本社:東京都)の電気自動車(EV)充電インフラサービスの指定代理店として、国立大学法人宮崎大学木花キャンパスにEV充電器を設置しました。

- ・山口県周南市で「脱炭素」スタンプラリーを開催



周南市温暖化対策地域協議会が企画する「周南市内のカーボンニュートラルと関わりのあるスポットをめぐる脱炭素社会への理解を深めてもらおう」というスタンプラリーが周南市で行われています。

- ・東芝が水素製造で新技術、イリジウム10分の1で生産効率500倍



東芝は水素をつくる水電気分解装置の電極製造に使うイリジウム(Ir)の量を従来の10分の1に抑える芯技術について、生産効率を約500倍向上した。今後製品化を目指す。

- ・カードゲームで脱炭素、北九州市立大院と老舗餅店が考案



子どもたちにカーボンニュートラル(温室効果ガス排出量実質ゼロ)について考えてもらおうと、北九州市門司区の高石餅店(清藤貴博店主)と北九州市立大学の大学院生がカードゲームを考案した。

- ・電動パーソナルモビリティが急増中



カーボンニュートラルや新型コロナウイルスの感染拡大などがきっかけになって、電動パーソナルモビリティに注目が集まっている。

- ・長崎、風で脱炭素実現の石炭輸送船命名引き渡し



海運業界での脱炭素の実現を目指し、西海市の大島造船所で風を推進力として利用する石炭輸送船が建造され、商船三井へ命名引き渡し式が行われました。今後、海外からの石炭運搬船として使われます。

- ・大分で置き配バッグを活用した再配達削減実証実験



大分県は置き配バッグ500名の無料モニターを募集し、再配達および二酸化炭素の削減効果を調査し、運送により発生する二酸化炭素削減の意識啓発を図るため同実証実験を行う。

- ・中古車両をEV化、西鉄が「レトロフィット電気バス」の製作開始



西鉄グループは2022年10月、レトロフィット電気バスの製作を開始するとともに、完成した車両2台を福岡地区へ導入すると発表した。

- ・加速するCO2固定化コンクリートの技術開発



コンクリートは身の回りのいたるところで使われています。その主な原料となるのがセメントです。それをCO2を資源として製造したり吸収させる技術開発が急速に進んでいます。

島原カーボンニュートラル推進協議会の運営は、活動を応援して下さる個人や企業、団体の寄付やご協賛によって行われます。会の趣旨をご理解頂き、協賛・参加等の応援で、カーボンニュートラルで実現する素晴らしい島原の未来を一緒に実現しましょう

◆協賛企業、団体の募集：◆活動に参加する個人・企業、団体会員の募集：◆寄付をして応援する

※参加申込や詳細は下記のSCNホームページ(QRでスマホでも提供)まで

SCN事務局 代表 林田 勉  
〒859-1404 長崎県島原市有明町湯江丁2932  
TEL: 050-5211-5530  
Mail: info@scn-pc.jp、HP: https://www.scn-pc.jp

